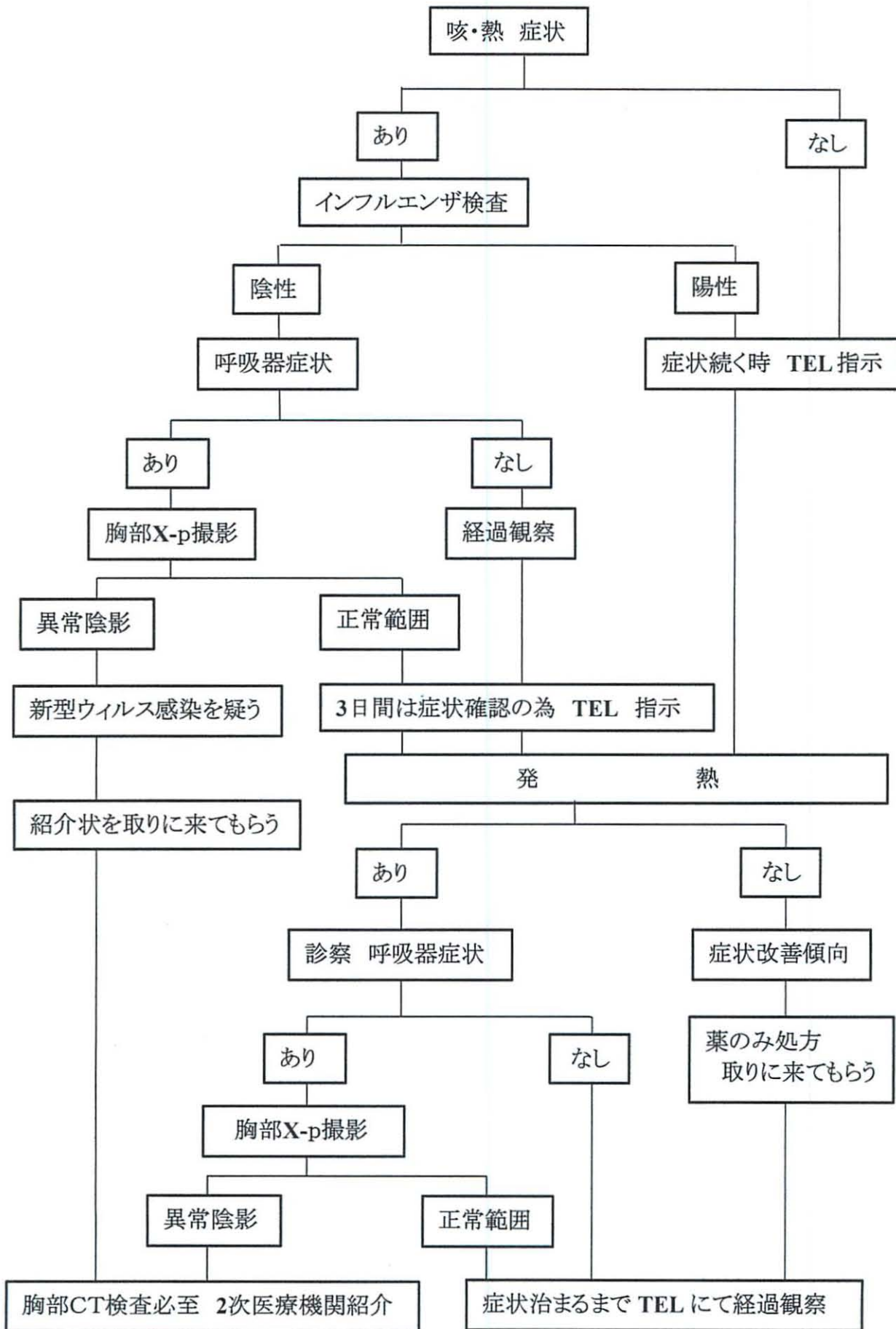


感冒症状の患者 診察の流れ





2020 齋賀医院院内感染予防対策（2019-nCoV）



- ◎ 感冒症状のある方は全て新型コロナウイルス感染の疑いがあるとし、院内感染予防に努める
- ◎ 待合室での濃厚接触を防止するため、咳や熱のある方は受付へ申し出てもらう
(案内板を作成し、目立つ場所へ設置)

- ◎ 感冒症状で診察 車で来院の方には呼出レシーバーをお渡しし、駐車場内での待機を促す
(ルーズリーフに名前 呼出機 **No** を記録)
車来院でない方はついたてへ案内 ついたてへは空気清浄機を設置
(カルテへついたて札を付け、赤い線の奥での待機を促す)
- ◎ 呼出機準備 貸出レシーバーは汚染防止のためラップで個装する
(ディスポグローブ着用で使用後のラップを交換)
レシーバー回収方法・・・受付に配置した返却箱 **Box** へ患者様自身に入れてもらう

- ◎ **X-P**準備 密室での接触時間短縮のためカセット高さは高めに固定
(高さ調整の為、ステップ台を使用)
検査着はディスポーザブル使用 使用後は患者様自身に蓋つき **BOX** に入れてもらう
(準備の際、蓋はあけておく 消毒後蓋をする)
蓋つき **BOX** には医療廃棄容器を使用
(業務用ゴミ袋の中にいれて使用する。容器は再利用)
廃棄容器は **x-p** 室入って左側に設置 使用済みディスポ検査着ビニールの破棄に使用
撮影室入り口右側に着替え籠を準備 ディスポ検査着を一枚入れておく
(ディスポ検査着は包装袋を外し **x-p** 室 左奥 オーバーテーブル上に数枚用意)
カセット グリッドはビニール袋大をかけて使用 検査毎にビニール袋を換える
(ビニール袋は板の上から被せる)
x-p 操作室 撮影ボタンにビニール袋小を被せておく (撮影後交換)
長髪の方には使い捨てウレタン製ゴムバンド使用
必要物品は操作室へ準備 ディスポ検査着在庫は **x-p** ロッカー上
ビニール袋大 ビニール袋小 ディスポグローブ ティッシュ 消毒用エタノール
- ◎ 患者様からの **TEL** の対応
インフ(-)の時 **3** 日間は **TEL** にて症状の報告をしてもらう(状況により臨機応変に対応)
Pt-**TEL** 専用のルーズリーフ(アカサタナ順)にインデックスを付け使用
日付 名前 **TEL** 番号 症状を記す 来院決定時にカルテへ記入 予約で来院
症状悪化の連絡はX-p撮影の有無確認
撮影済みの場合胸部 **CT** 検査必至の為**2**次医療機関紹介 紹介状を取りに来てもらう
- ◎ 紹介した患者様は連絡が取れるようにしておく
(ID 名前 **TEL** 番号記入 休日前には日曜カルテと共にDrへ)

- ◎ 処方基本**4**日分
3日目の **TEL** 日に薬が切れるため、熱がなく症状改善傾向の場合、症状あれば薬を処方するので取りに来てもらう その後も症状続く場合は **TEL** にて対応

診察の流れ

番号確認の際、念のため 感冒症状の有無を確認

	診察室 ①	Ns	裏書	介助	事務
感冒症状 のある 患者 来院					受付時 感冒症状の有無を確認 初診の方は保険証確認 その他 pt の保険証確認はしない (臨機応変に対応) 車来院の方 呼出機を渡す (名前 呼出機 No を記録) 車来院でない方はついでに案内 ついでに札を付ける Pt-TEL にて来院の場合医院到 着時に連絡をもらい案内
			車待ちの方 診察順番が 近づいたら呼 出ボタン押す 受付に誘導を 依頼 カルテ預ける	ついでに待 ちの方 診察順番が 来たら 診①へ誘導	車待ち Pt が来院したら、レシー バーを Pt 自身に返却箱に入れ てもらう PT を誘導する 居場所を示す付箋を付け裏書へ レシーバーのビニール交換
				扉の開閉	
	診察				
新型ウィ ルス鑑別 の為検査	インフル エンザ 検査 オーダー		試薬蓋を開け 裏書机左上 のホルダーに セット		
	検体採取		検査キットに 名前を記入	検査介助	
	検体スワ ブを試薬 に挿入			患者を誘導 車待ちの方 Tel No 確認	
		グローブ 装着にて 検査		手指アルコ ール消毒後 手洗い	
	手指アル コール消 毒後 手洗い	手指アル コール消 毒後 手洗い		取手の消毒	

	診察室 ①	Ns	裏書	介助	事務
肺雑音 あり	胸部 X-p オーダー	下駄箱前を通り 操作室へ入室 カセットをセット ID 入力			
	患者を誘導 検査着を渡し着替え を促す 撮影準備	Dr 指示に従う			
	撮影				
	着替後、待機を促す				
	カセットをスタンドか ら外し操作室ドアを 開ける 開閉はドアノブ				
		カセットを受け取 り読込機へ			
		操作室ドアを閉 める ドアノブに触れぬ 様に注意			
		下駄箱前を通り 検査終了を報告			
	結果正常範囲の時 診①にて説明			X-p室から誘導 扉の開閉時ドアノ ブに触れる際はペ ーパータオルを使 用 診①扉の開閉	
	異常陰影(+)の時 撮影室にて説明				
		グローブ装着で X-P室を消毒 次回撮影の準備			レセ→薬局へ 処方箋FAX (印をつける) 未収
胸部CT 紹介	X-p 異常陰影 新型感染症疑いあり 胸部 CT 検査必至 2次医療施設紹介		紹介状 作成		X-p プリントアウト